

常なる磐

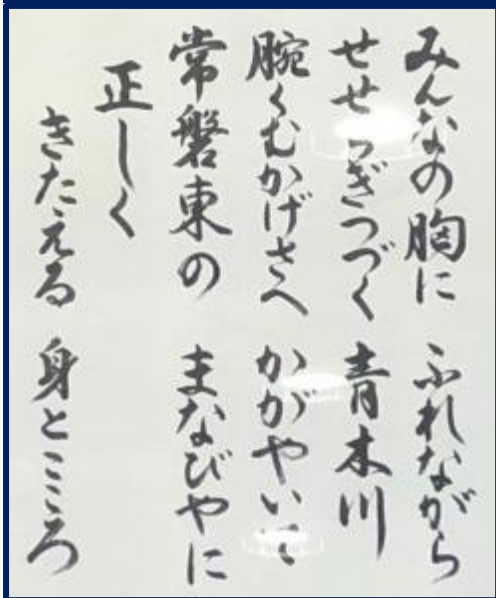
つねなる いわ seasonⅢ

令和 4年12月9日(金)

その1 通算 286号

◇ 正しく きたえる 身とところ「かけ足訓練・マラソン大会」

常磐東小学校 校歌 2番



今年で開校122年の歴史を数える本校だが、校歌（当時は「常磐東小学校の歌」）は開校60年を記念してつくられており、その歴史は意外と浅い。

歌詞は分かりやすく、元気の出る力強さがある。中でも2番は秀逸で、末尾の一文【**正しく きたえる 身とところ**】が、校歌をぐっと引き締める。

そしてこの一文は、「今年度の教育目標」でもある。

昨日の「校内マラソン大会」で締め括られた今年の「かけ足訓練」。まさに校歌の一節【**正しく きたえる 身とところ**】を象徴する学校行事であった。

マラソン大会後は急に風が強まり、気温も下がって小雨もちらついた天候がうそのように、大会時は、無風快晴。これ以上ない「絶好のマラソン大会日和^{びより}」。この好天を呼び込んだのは、子供たちの意気込みだろう。欠席なしの全員参加。何より、ここがすばらしい。

間違いなく長距離走が苦手な子もいる。逃げ出したくなる弱気を振りはらい、スタートラインに立つだけでも、「身も、心も、自ら鍛えている」というものだ。

とはいえ、何のトラブルなしともいえないのが、正しく鍛えるための壁だ。

大会前の試走で、昨年^{ぜんだ}の記録から順位をぐんと上げ、やる気満々でこの日を迎えた2年生のFさん。しかも、大会開催日が誕生日。Fさんにとっては万全のお膳立ての中、準備走でまさかの転倒。涙が止まらず、心が折れかける。それでも流石の誕生日。ここでサプライズ。涙でぬれる顔を上げると、目の前には前担任の島田先生の姿。心は急上昇。少し間を置いたスタート時は、涙顔はどこへやら。

転倒前以上のやる気満々の気合が入った顔つきで、スタートラインに着いた。

正しく心を鍛えるには、大人たちのさりげない「支え」も重要なのである。

低学年レースが始まった。低学年だから「ほのぼの感」があると思ったら大間違い。^{おおまちがい}白熱レースに、観客も大興奮だ。

序盤でレースを引っ張ったのは、何と1年生のHさん。これには、本当に驚いた。

最終的にHさんは、2年生のYさん・Tさんに次ぐ全体の3位、1年生では堂々の優勝。しかも10年ぶりの祝新記録達成。

2年生も、ワクワクさせるレースだった。昨年、新記録で優勝して連続優勝をねらうYさん。そして、昨年わずかな差で敗れ、『今年こそは』と雪辱を期すTさん。ごらんのように、中間点あたりでも後続以下を大きく離し、猛烈なつばぜり合いを繰り返す。

数日前の試走で、Yさんから大きく差を広げられてゴールしたTさん。その後、Tさんは帰宅してからも自主的に走り込んでいたと担任の飯田先生から話を耳にする。走り込みによる筋力・呼吸力の向上は体躯を、悔しさをやる気に変える考え方は心を、自らの思いと行動で正しく鍛えた。



二人が校外コースから学校に戻ってきた。上級生の応援の声が一気に高まる。

そして、先にゴールテープ

を切ったのは、わずかの差でTさん。そして二人ともが新記録。

その前記録保持者が6年生のKさん。4年前、2年生の時の記録である。少しKさんについて触れておこう。昨年のマラソン大会のこと。走る距離が30mほど伸びた上学年の新コースでありながら、Kさんは5年生の新記録をたたき出した。しかも、この記録は6年生記録をも上回るもの。つまり学校記録である。さらに、9月に行われた岡崎市小学校陸上大会の1500m走で、市内準優勝を成し遂げている。つまり、Kさんの実績を考えると、二人は大記録を更新したとも言える。

それでも思う。TさんとYさん。お互いの存在無くして、今回の記録はない。そして何より【正しくきたえる身とこころ】を具現したことに大きな価値がある。そしてYさん。来年の大会で3年連続新記録達成ができるのは、君しかない。